



九州大学のネパール地震復興支援活動について

概要

九州大学では、本年4月25日(土)にネパール西部で発生した大地震の被害を踏まえ、地震災害復興に関連する研究を行っている学内の専門家による調査団を派遣することとしました。また、被災者の方々を支援するため、学内の教職員等による募金活動を行いました。

■ネパール地震復興計画立案のための九大調査団の派遣

本学大学院工学研究院の Hazarika Hemanta 教授(インド出身)は、ネパール地震発生直後に日本から緊急派遣の調査団のメンバーとして調査を行いました。今後、ネパールの復旧・復興に寄与するためには大学独自のさらなる調査が必要と考え、地震災害復興に関連する研究を行っている学内の専門家で調査団を設置し、ネパール地震について詳細な調査を行うこととしました。

- ・現地に派遣する調査団の構成
工学研究院 教授 塚原 健一(附属アジア防災研究センター長)
工学研究院 教授 Hazarika Hemanta
工学研究院 准教授 梶田 幸秀(附属アジア防災研究センター兼任)
工学研究院 准教授 笠間 清伸
システム情報科学研究院 教授 Pokharel Ramesh
- ・調査日程
平成27年8月1日(土)～平成27年8月7日(金)

■ネパール地震被災者への義援金

ネパール地震被災者の方々への支援のため、次のとおり学内の教職員等による募金活動を行いました。集まった義援金は、日本赤十字社を通じて被災地へお届けします。

- ・募金期間：平成27年5月13日～平成27年6月30日
- ・募金総額：751,000円
- ・募金人数：約300人(学生含む)

【お問い合わせ】

○調査団派遣について

九州大学大学院工学研究院教授
Hazarika Hemanta
電話：092-802-3369 FAX：092-802-3378

○義援金について

九州大学総務部総務課
電話：092-802-2126 FAX：092-802-2139
Mail：syssomu2@jimu.kyushu-u.ac.jp